



校長室だより 2月

2021(令和3)年2月1日
大阪市立堀江小学校
校長 藤原 和彦



鬼はどこにいる？

あっと言う間に2月になりました。まだまだ寒い毎日が続きますが、明日の「節分」を過ぎると「立春」を迎え、暦の上では春(新しい年)がやってきます。節分と言えば2月3日のイメージですが、暦のずれで、今年は124年ぶりに2月2日なのだそうですね。

もともと春夏秋冬それぞれの季節の変わり目を節分と言いますが、今では立春前の節分だけが残っています。そして、節分には様々な行事が行われています。中でも「鬼は外、福は内」の豆まきは古くから伝わる行事です。これは、季節の変わり目には邪気や災いが入りやすいので、新しい年に向けてそれらを払うために豆をまく行事が、今に残ったものだと言われています。

ところで、豆まきで退治する鬼は、いったいどこから来るのでしょうか。今、大流行の鬼滅の刃では、人間が鬼になってしまいますが、考えると、鬼は外ではなく、ひょっとして自分の中にはいるのではないかなと思える時があります。例えば、自分勝手な「わがまま鬼」。周りの人のことを考えないで行動してしまう時は、この鬼が顔を出しているのかも知れません。他にも、やる気が出せない「サボリ鬼」、人を裏切る「ウソつき鬼」、がまんができない「気みじか鬼」、その場逃れの「言いわけ鬼」、自信が持てない「弱気鬼」、すぐに手が出る「あばれん坊鬼」、人をうらやむ「ねたみ鬼」などなど…。こうした鬼は、実は誰の心にも住みついていて、普段は眠っているのだけれど、何かの拍子にひょっこり現れるのかも知れません。

しかし、いくらたくさん豆をまいても、残念ながらこの鬼は逃げてはくれません。ではどうすればこれらの鬼を追い払う事ができるのでしょうか。それには、自分の心の中に、どんな鬼がいるのかを知る事、そして、出てきた鬼を追い出すような強い心を持つ事が必要です。つまり、自分としっかり向き合う事が大事なのです。その鬼に勝とうとする気持ちだけが、唯一鬼を退治できるのではないのでしょうか。

さて、みなさんの心の中には、どんな鬼が住んでいますか？

※今月号は子ども向けにふりがなをつけています。

